

令和元年6月、第1回定例会一般質問での質問と答弁の要旨

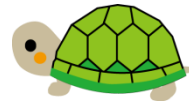
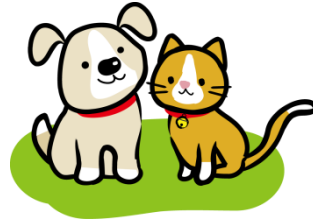
高齢者のペット問題で連携を！

質問 高齢のゆえ思うようにペットを飼育できなくなり、多頭飼育や鳴き声や悪臭などから地域の問題となっていることがあります。とは言え問題がペットにあるからと、単に排除することでは、生きがい無くすこととなります。

高齢者支援担当課としてしっかり課題と捉えていただきたいと思います。

動物愛護推進員など関連する個人団体等が、地域で活動中、高齢者に関する相談も増えているのが現状です。今後は、日頃から連絡し合える関係性を持つことや、課題や情報を共有する場が必要と思っております。

答弁 今後は、高齢者支援を所管する部署や関係機関と、ペットを所管する部署や関係団体が連携して高齢者の自立を進めながら、ペット問題を含めた複合的な問題に対応していきける体制づくりについて、検討する必要があると考えております。さらに地域会議などにおいても、高齢者のペット問題について取り上げることで、ケアマネジャーをはじめとする、多職種の方々と意見交換や情報提供する機会を増やしてまいります。



ケアマネジャーの負担軽減を！

質問 院内介助について、介護保険制度上、通院介助や外出介助は訪問介護サービスなどにより対応できますが、病院内での介助はケアプランになっている以外は、医療保険で提供されるべきサービスであるため、病院のスタッフが対応するのが基本とされています。ただ現実には、ケアマネジャーが同行し院内介助をすることが多いと声をいただきました。

注目すべきは、現場では大きな課題があり、見えない負担もあるということです。ケアマネジャーとの意見交換、情報共有など、今後確実に設けて欲しいと思っております。院内介助については、総合事業や新たにサービスを創設することが必要ではないでしょうか。

また医療と介護の連携からも、医療機関の協力も大事であると思っておりますがいかがですか伺います。さらに、今、高齢者福祉計画および介護保険事業計画の8期に向けて、ぜひ計画に位置づけて検討していただきたいと思います、合わせて伺います。

答弁 利用者の現状を一番把握しているケアマネジャーとのご意見を伺う機会を積極的に設けて、連携を図りながら問題の解決につなげてまいります。

院内介助について、新しい視点から考えられた貴重なご意見であると思っております。

こうした課題を解決するため、医療と在宅介護の連携の場である情報交換会等を定期的に行い、その中で、情報交換やグループワークなどを通じて、ケアマネジャーや医療関係者の方々から、ご意見を伺う機会を設けていくことを考えていきます。

また、総合事業に位置付けられるか検討したい。



市民相談はお気軽に
遠藤 みつひろ

090-6545-3849



http://www.komei.or.jp/km/asaka-endou-mame/

朝霞市幸町 2-2-27
TEL&FAX 048-461-6669
endou-soudan@i.softbank.jp



令和元年6月、第1回定例会一般質問での質問と答弁の要旨

難聴児への支援 人工内耳の負担軽減を！

質問 難聴は、音を聞いたり音を区別したりする能力が低下している状態で、中耳や内耳の障害で脳の障害ではありません。難聴は生まれつきの障害の中でも最もよく見られる障害のひとつです。人工内耳は、現在世界で最も普及している人口臓器のひとつで、聴覚障害があり補聴器での装用効果が不十分で人工内耳装置

ある方に対する唯一の聴覚獲得法です。手術費用は医療保険の対象となりますが、その後の修理や買い替え、バッテリー交換などの費用は自己負担となり経済的な負担となっています。

特にバッテリーは、価格が1個2万円程度で、対応年数が2～3年。使用できる時間が約12時間程度のため3個くらい常備しているそうです。バッテリーやメンテナンス費用などへの負担軽減をと訴えるものです。市の取り組みについて伺います。

答弁 一部の自治体では、自己負担の軽減のために補助制度を設けているところや、先進的なサポート体制をつくりあげているところもあります。今後はこうした自治体の取り組み状況について、調査研究をしてまいります。



SNS相談窓口の開設を！

SNSとは、インターネット上で気軽に交流できるサービス

質問 LINEなどSNSを活用した行政や民間の相談窓口が各地で注目を集めています。学校でもSNS相談の活用が広がり、文科省も18年度から補助金を出してSNS相談を行う自治体を後押ししています。

子ども達が、より相談しやすい体制をつくっていく事が重要であると思っております、以前にも訴えましたが、SNS相談窓口の開設について伺います。

答弁 SNSは子どもたちにとって、身近なツールであり、相談室につながるきっかけとして有効であると捉えていますが、課題も散見されるので、導入については慎重に検討してまいります。



その他の質問

- ・障害者に対する公共交通割引のIC化について
- ・多文化共生2020年オリパラでの取り組み
- ・外国人への通訳、翻訳の支援について

一般質問の要旨は
ホームページに投稿済です
日頃の活動なども発信中！
ぜひフォローを！



ホームページ



Facebook



LINE



Twitter

